

シトラスリボンプロジェクトに関する取組実績について

健康局 保健所 感染症対策課
市民局 ダイバーシティ推進室 人権企画課

1 「シトラスリボンプロジェクト」と大阪市での取組み

新型コロナウイルス禍で生まれた差別や偏見に対し、愛媛県内の有志の方が、特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、誰もが地域で笑顔を取り戻せる、差別や偏見のない社会にとの願いから取り組んでいるもので、現在、全国的に多くの事業者や行政機関等が賛意を示し、その取組みが広がってきています。

これを受けて、大阪市でも、新型コロナウイルス感染症に関し、感染された方や医療従事者、その家族に対する誹謗中傷やインターネット上への心ない書き込みがなされるなどの人権侵害について、啓発を進めてきたところですが、「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に賛同し、全庁的に取り組むこととしました。(R3.2.19 付け報道発表)

<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kenko/0000528377.html>

2 主な取組内容

- (1) 人権行政推進本部員あて、取組みの依頼 (R3.2.19 付け)
 - ・ 職員のリボン着用、チラシ、リボンの掲示などのお願ひ
- (2) 全職員あて、着用の勧奨、一斉メール (R3.3.10 付け)
 - ・ リボン着用の呼びかけ、「シトラスリボンプロジェクト」チラシの送付
- (3) 人権行政推進本部幹事あて、所属関係機関への紹介を依頼 (R3.3.10 付け)
 - ・ 各所属から指定管理者、事業委託者、その他関連団体への働きかけ

3 実施状況 (R3.4.16 時点)【全 51 所属】

- ・ 所属長がリボンを着用している (20 所属)
- ・ 全職員がリボン (シールを含む) を名札に着用している (5 所属)
- ・ 職員の 1 割以上がリボンを着用している (15 所属)
- ・ 周知チラシの配架や掲示をしている (42 所属)
- ・ 関係団体等へ周知するなどの働きかけを行った (27 所属)
- ・ ホームページ、区広報紙、情報誌等への掲載による啓発を行った (24 所属)

(5 月号を含む)

ストップ! コロナ差別

新型コロナウイルス感染症に感染された方や医療従事者、その家族に対する誹謗中傷やインターネット上への心ない書き込みがなされるなど、人権を侵害する事象が見受けられます。

新型コロナウイルスは、誰もが感染するリスクが、誰でも感染させるリスクがあります。

どのような理由があろうと、差別やいじめは絶対に許されません！

大変な時であるからこそ、確かな情報を知り、

お互いを思いやり、尊重し、支えあってこの危機を乗り越えましょう

大阪市はシトラスリボンプロジェクトに賛同します



Citrus
Ribbon
PROJECT

シトラスリボンが広がることで、みんなが声を掛け合って繋がりを大事にするきっかけになってもらいたいと願っています。

シトラスリボンプロジェクトとは・・・

コロナ禍で生まれた差別、偏見に関して、愛媛の有志の方がつくった「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めるプロジェクトです。

シトラスリボンプロジェクト

検索



大阪市健康局 保健所 感染症対策課

大阪市市民局 ダイバーシティ推進室 人権企画課